授業科目	ハングル発展					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	韓　京我						
授業概要	韓国語入門で学習したことをベースに、韓国語の単語や身近な事柄について会話表現を中心に学び、自己表現とともに他者理解ができるようになることを目指す。なお、授業は指定の教科書を中心に進めるが、受講生の理解を助けるため、補充資料や練習用プリントを用いることがある。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	簡単な文章を書くことができ、韓国語で質問し、その答えを聞き取り、自分の一日の行動が話せる。 1．学習した決まり文句や返事・あいづちを適切に使えるようになる。 2．自分や相手に関する事柄について、簡単な会話ができる。 3．授業で学習した単語や文法を使って書かれた文章を理解し、正しく読んだり、書いたりすることができる。
理想的レベル	1．簡単な韓国語に受け答えすることができる。 2．テーマについて簡単な作文ができる。 3．日常生活における基本的なコミュニケーションの方法を身につけること。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	20%	
レポート	05%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物	05%	
その他	10%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	EN10507J T010507J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習：該当部分の復習	1

授業計画

第 1 回	授業の進め方及び評価方法について 韓国語入門での主要学習事項について復習 第 12 課　所属と学年
第 2 回	第 12 課　何の～、学年の言い方、～も 第 13 課　サークル
第 3 回	第 13 課　하다用言、～を、好みの表現
第 4 回	第 14 課　持ち主、指し示す言葉、所有・所属表現

第 5 回	第 14 課　名詞文の否定 第 15 課　存在、ある・いる/ない・いない
第 6 回	第 15 課　二重パッチムの発音、해요体（-ます/です)、～に
第 7 回	第 16 課　年齢、年齢の言い方、～ですね、～で
第 8 回	第 12～16 課の主要学習内容について復習 中間テスト（会話テスト・筆記テスト）
第 9 回	第 17 課　関心と好きなもの、琉音化、～が、～と
第 10 回	第 17 課　丁寧化の語尾 -요/이요、～（し）て 第 18 課　日常のおこない
第 11 回	第 18 課　否定表現、해요体の縮約形、～けれども、～で
第 12 回	第 18 課　「나의 하루　私の１日」を作文 第 19 課　過去のできごと
第 13 回	「나의 하루　私の１日」を発表
第 14 回	第 19 課　過去の해요体、해요体の縮約形、～（し）に
第 15 回	第 17～19 課の主要学習内容について復習 全体的なまとめ
テキスト	長谷川由紀子　著　『コミュニケーション韓国語　聞いて話そうⅠ』　白帝社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	随時紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	１．提出された課題を返却する。 ２．課題や小テストの正答を公開し、書き直す。
学生へのメッセージ・コメント	１．教科書添付の音声ファイルを活用して対話になじむように取り組むこと。 ２．予習・復習はもちろんのこと、「声を出す」ことを惜しまないように。 ３．習い覚えた韓国語を日常生活の中でどんどん使う習慣をつける。